

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	②	学校名	ろう学校
----	---	-----	------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 筒井順慶まつりへの参加 (2) デフリンピック講演会
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 中高部「奈良タイム」「総合的な探究の時間」「総合的な学習の時間」「特別活動」で実施。社会参加活動を経験し、コミュニケーション力の向上を図る。地域の歴史や文化的な魅力を学ぶ。 (2) 高等部「自立活動」で実施。地域で活躍するスポーツ選手の話聴くことで自己の生き方や聴覚障害者としての生き方について考える。
連携・協働相手	(1) 筒井地区自治会、筒井近隣地区 (2) 奈良県聴覚障害者協会
地域と共有している目標・課題等	(1) 学校と近隣住民との連携機会を創出、筒井地区の魅力発信 (2) 奈良に生きるろう者としてのアイデンティティの獲得、スポーツ愛の醸成、デフリンピックの啓発
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 順慶まつり実行委員会や筒井順慶顕彰会、地域自治会の方々と連携し、筒井駅前での会場案内や武者行列の参加、模擬店準備、販売、案内チラシなどの作成など、生徒会有志による自主的な企画運営を行った。 (2) 奈良県聴覚障害者協会と連携し、デフリンピックについての講演会を実施した。地域住民や学校運営協議会などにも声をかけ、県内唯一の聴覚特別支援学校として、ろう者としてのアイデンティティやデフスポーツの啓発に努めた。	

2. 事業の成果と課題

(1) 筒井地区に縁のある諸団体と一緒に地域の祭を運営することができた。生徒が主体的に企画・運営をすることができた。
(2) 奈良県聴覚障害者協会、デフサッカー日本代表を講師としてお招きし、デフリンピックについての講演会を実施した。筒井地区自治会と連携し、地域住民も参加できるように呼びかけ、共に学ぶ場を作ることができた。
【生徒の感想】「デフリンピックが東京で開催されると知り、行ってみたいと思いました。」

